

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「子どもの表現と表現する自分」
担当形態	単独	担当教員	大澤 ちづる
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	適宜、資料を配布する。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿から、さまざまな「音楽的表現」を捉える視点を学び、子ども理解を深める。 ・グループディスカッションを通して、自らの考えを見出したり、他者の意見を受け入れたりしながら、自己課題を発見する。 ・自分の声や身体に向き合い、歌う経験を通して、豊かな感性と表現力を高める。 		
授業の概要	<p>保育者は、子どものモデルです。子どもの前に立つとき、保育者は、常に見られる存在となります。保育者の立ち居振る舞いや言葉は、子どもに刷り込まれていきます。皆さんは、見られる自分をどれほど意識したことがあるでしょうか。</p> <p>本授業では、自ら表現することを通して、表現の豊かさ、面白さを探求します。表現する自分、見られる自分を意識し、人に何かを伝えるために自分に必要なものは何か、自己課題を発見して欲しいと思います。子どもの表現について考えることと並行して、自己の表現活動を行います。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション ゼミのねらいと内容について</p> <p>第2回 表現とは？</p> <p>第3回 保育現場における表現活動について①</p> <p>第4回 保育現場における表現活動について②</p> <p>第5回 楽しく歌うとは？</p> <p>第6回 歌ってあそぶ①</p> <p>第7回 歌ってあそぶ②</p> <p>第8回 幼稚園実習のふりかえり</p> <p>第9回 表現活動①</p> <p>第10回 表現活動②</p> <p>第11回 表現活動③</p> <p>第12回 表現活動④</p> <p>第13回 表現活動⑤</p> <p>第14回 表現活動 発表</p>		

	第 15 回 まとめ・後期にむけて				
準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り扱う指示された文献等を事前に読み込んでおくこと。 ・表現活動については、与えられた課題を自己練習すること。(必要時間 60 分) 				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み(討議への積極的な参加、発言内容、実技) — 50% ・レポート — 20% ・実技発表 — 30% 				
参考文献	青木久子「新保育者論 子どもに生きる」萌文書林 「オペラシアターこんにやく座ソング集 世界は劇場 1」全音楽譜出版社				
特記事項	ワークショップに参加したり観劇に出かけたりすることがあります。 それらの経費は自己負担となります。				
課題へのフィードバック方法	発表課題についてコメントします。 表現活動について、口頭でコメントします。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
教員の実務経験					